

## 学位論文審査の結果の要旨

Lela Susilawati

本研究は、カエルの皮膚から分離した細菌の植物病害生物防除能に関わるものである。日本産カエル 3 種の皮膚から分離した約 100 株の細菌から、HjD52, HjD92, B341 の 3 株をキュウリ炭疽病菌に対する抗菌活性で選抜、これらが、キュウリ炭疽病などの植物病害に対する生物防除効果を示すことを見出した。また、HjD52, HjD92, B341 を、分子生物学的方法によって、それぞれ、*Paenibacillus* sp., *Raoultella* sp., *Citrobacter* sp. と同定した。さらに、これら 3 株が、抗菌活性物質を産生していることを示唆した。カエル皮膚から分離された *Paenibacillus* sp., *Raoultella* sp. および *Citrobacter* sp. の植物病害生物防除能に関する報告は初である。これらは、植物病理学のみならず農学、生物学において重要な知見であり、病原制御などの応用面に寄与するものである。この成果は、*Biological Control* 誌 1 編に公表された。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は、全員一致して、本論文が博士（農学）の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。